

## 吉村 昭氏企画展・特別講演会開かる!!



吉村昭氏夫人の津村節子様を交えてのテープカット



「私が長崎で知っているのは、県立図書館と思案橋だけです」という吉村氏の言葉が印象的でした。

『戦艦武蔵建造日誌』『戦艦武蔵取材ノート』などの資料に見入る人たち。涙する人も…。

『戦艦武蔵』など歴史小説で本県にゆかりの深い作家吉村昭氏の長崎来訪105回を記念した企画展「歴史小説の世界―史実を歩く―」を9月に開催しました。オープニングには特別講演会も開かれました。

企画展では、『戦艦武蔵』関係資料や小説の生原稿など170点を展示し、期間中2,500名の入場者で連日にぎわいました。

### もくじ

- ◎読書の秋に行われた県内の催しより…… P 1
- ◎進路資料コーナー「私の薦める一冊」の紹介… P 2
- ◎企画展のご案内…………… P 3
- ◎県立長崎図書館協議会委員のご紹介…… P 4
- ◎市町村図書館等紹介…………… P 5
- ◎行事案内…………… P 5



# 読書の秋に行われた県内の催しより

## 平成15年度長崎県図書館活動推進大会

■去る10月20日、松浦市生涯学習センターにおいて、平成15年度長崎県図書館活動推進大会が開催されました。今回は、「公共図書館と学校図書館との連携」を1つのテーマとして開催し、図書館や学校関係者など約130名もの参加がありました。

開会行事の後、地域の読書活動の推進に寄与されている優良読書グループ等の表彰が行われ、続いて、諫早市立諫早図書館の高橋あすかさんら3名による活動状況発表が行われました。

次に、図書館づくりと子どもの本の研究所代表の平湯文夫氏による「公共図書館と学校図書館との連携」と題した講演が行われ、「県内の図書館活動を推進していくには、双方の環境整備を積極的に働きかけていくことが必要である」といったお話をいただきました。

- ◎優良読書グループ ねむの木読書会〔香焼町〕
- ◎優良地域文庫 西諫早子どもの本を楽しむ会  
(グルンパ)〔諫早市〕  
愛のおはなしの部屋〔愛野町〕
- ◎読書推進運動協議会表彰(伝達) 竹松読書会〔大村市〕



## 長崎県地方史研究会第2回研究発表会

■11月1日、諫早市文化会館において、県地方史研究会の第2回研究発表会が開催され、170名の参加がありました。諫早史談会の光富博氏の「嶋原大変と諫早」、田崎保時氏(同)の「赤司安俊の都廻道之記」と題した研究発表のほか、諫早のんのご節などの郷土芸能の披露がありました。また、午後からの史跡巡りでは「旧諫早家御書院」の庭園などを訪ねました。

## 長崎県読書グループ連絡協議会・史跡見学

■11月14日、秋晴れのもと、県読書グループ連絡協議会の史跡見学を実施しました。今年は、鳥原城資料館の松尾卓次氏を講師としてお招きし、「鳥原キリシタン史跡見学」と題して、原城跡や日野江城跡などを訪れました。各読書グループから60名もの参加があり、終始和やかな雰囲気の中で、お互いの交流・親睦を深めることができました。



### ミニ統計 県内市町村図書館及び公民館図書室における一人当たりの数値 -ベスト5-



(県立長崎図書館「平成15年度 図書館・公民館図書室調査」より)

## 中学生向け「進路資料コーナー」を設置しています

今、本館では、県内高等学校の学校案内や学校紹介パンフレット等がご覧になれる中学生向けの「進路資料コーナー」を設置しています。

A校とB校の違いは何だろう。専門高校にはどんな学校があるのだろうかなどの疑問をお持ちの中学生や保護者の皆様のご利用をお待ちしています。

★資料内容 平成15年度県内高等学校の中学生向け広報資料  
(学校案内・紹介パンフレット、学校新聞など)

★期 間 平成16年1月30日(金)まで

★場 所 本館2階オープンスペース

★そ の 他 館内閲覧のみで、資料の貸出は行いません。



利用者から利用者へ (シリーズ第1弾)

## 「私の薦める一冊」を募集しました

秋の読書週間(10/27~11/9)に際して、読書の秋に利用者から利用者へ「私の薦める一冊」を、募集しました。多くの利用者の方から、自分が読んで感動した本やお気に入りの本などを、お薦めの一語を添えて応募していただき、応募いただいた用紙は、本館2階オープンスペースに掲示して、他の利用者の方々へもご紹介しました。ここでその一部をご紹介したいと思います。

### 「君達はどう生きるか」 (吉野源三郎著 新潮社ほか)

中学2年生の担任の先生は、若いだけがとりえで、授業も下手くそで、私たちみんなでばかにしていましたが、帰りの時間におよそ10分、ほとんど毎日読んでくれたのがこの本です。はじめは耳を貸さなかった悪ガキどもも、いつの間にか待つようになりました。コベル君と自分との距離をたぐり寄せていました。あれからもう50年になります。あの先生の思いを今頃になってあなたにも伝えたくくなりました。自分の中に“悪い心”が芽生えていることに気付いて、そんな自分をもてあまして、どうしていいかわからなくなったときに読んで欲しい。(匿名)

### 「飛ぶ教室」 (エーリッヒ・ケストナー著 岩波書店ほか)

子どもの世界にも大人の世界にも変わらないで存在する友情と悲しみ。その人生の光と陰を味わうのに子どもだって負けてはいないのです。泣きたくなるようなこともたくさんあるけど、生きるってすばらしい……。そんなことをしみじみと思い出させてくれます。(50代 主婦)

### 「奇跡の言葉」 (鏡リュウジ著 学研ほか)

この本は目次が一風変わっていて、そのときの気分によって分類されています。中身は有名な人たち、例えばフロイトやマザー・テレサなどの言葉や物語の中にあつた台詞など「奇跡の言葉」が詰まっています。ほんの少し背中を押してくれるような言葉と、天使の写真で構成されているので誰でも読みやすく感じるはずです。おすすめの読み方は、気が向いた時に目次で探したどこか1ページをめくって言葉をかみしめること。毎日の中の小さな出来事に少しシュンとなっている人。“言葉”が好きな人。わずかな心の動きも大切にしている人に。(東長崎 18歳女性)

### 「夜の神話」 (たつみや章著 講談社ほか)

ファンタジーだけどこか現実でありそうな感じがする不思議なお話です。ふと、ひとりになった時に、読んでみると視点が少し変わる一冊です。(坂本町 10代中学生)

## 長崎県の成立と明治維新

みなさんは、今の長崎県がどのようにつくられたかご存知ですか？  
明治時代長崎県の中に佐賀県が含まれていたことをご存知ですか？

そこで、今回は長崎図書館所蔵の「明治期の資料」をつかって長崎県の移り変わりや、「明治維新」という変革の時期に長崎県がどのような関わりを持っていたかをわかりやすい解説年表と図をつけて展示しています。

今回は、「ながさきつう」にきつとなれる？ワークシート（問題用紙）も用意しています。

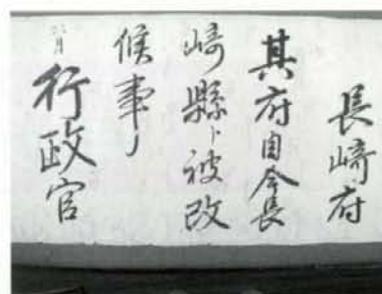
早めにご来館のうえ、どんどん挑戦してください。

みんなに自慢して『へえ〜』と言われること确实ですよ！

【期 日】 平成16年2月8日(日)まで  
(現在開催中です)

【場 所】 本館4階 郷土課展示室

【展示時間】 9時30分～17時（休館日を除く）



【長崎府を長崎県に改める達し】

## お知らせコーナー

## 県立図書館「読み聞かせの会」が県民表彰を受賞されました

読み聞かせの会（代表：椎名清子さん）は、昭和53年の設立以来、現在まで25年以上にわたり、毎週土曜日にこども室で開催している「読み聞かせ」などを通じて、子どもたちに読書の楽しさを伝え、子どもの読書活動推進に大きな役割を果たすとともに、夢や情操を育み、子どもたちの健やかな成長を支える取組を継続してこられました。この度、本と子どもたちをつなぐ地道なボランティア活動の積み重ねが大きな評価を得て、去る11月23日に県民表彰を受賞されました。これまでの活動に改めて敬意を表し、受賞を心からお祝いいたします。

## ボランティア募集のお知らせ

県立図書館では、閲覧室の書架の整理、こども室での読み聞かせをしていただくボランティアの方を募集しています。興味のある方はお気軽にお尋ねください。

## 「読書グループ」に参加しませんか

現在、県下には、読書会、読み聞かせ会などの読書活動グループが約180団体あり、様々な活動を展開しています。あなたも、読書グループに参加してみませんか。詳しくは、お近くの図書館や公民館などにお尋ねください。

## こども室に遊びにきませんか

こども室では、毎週土曜日午後3時から「読み聞かせ」を、毎月最終日曜日午後3時から「折り紙教室」を開催しています。大人も子どももどうぞお気軽にご参加ください。

## 県立長崎図書館協議会委員のご紹介

県立長崎図書館には、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対し、意見を述べる機関として、「県立長崎図書館協議会」があります。

協議会委員は、学校代表、社会教育関係代表、学識経験者など10名で構成され、毎年2回の協議会のほか、図書館大会などの行事にも参加します。

今年は、9月19日に、第1回協議会を開催し、前年度の事業報告や、県立図書館を取り巻く現状、今後の県立図書館のあり方について話し合いがなされました。



今回、10名の委員のうち、多くの応募者の中から選ばれた公募委員のお二人をご紹介します。

### 渡辺 俊子 (公募委員)



大学生と高校生2人の子供を持つ、ごく普通の専業主婦です。絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどのボランティア活動で図書館との関わりが多く、それが志望の大きな理由となりました。

それが志望の大きな理由となりました。

私は各所にある図書館など本に関係する施設に従事する人々の、より良い質向上と人材育成を県立図書館が主となってやって欲しいと思います。

各自治体ごとに、ブックスタートが進められはじめ、絵本の読み聞かせなどで低年齢の子どもたちは良い本に接する機会が多くなってきました。

これからは次の段階の子どもへの働きかけを工夫していく必要があるのではないのでしょうか。例えば、ただ「本を読みなさい」と言うのではなく、ブックトークで本を読みたくなるように仕向けていくなど、良い本の紹介をしてゆくことも大切だと思います。その為にも本に携わる人々に、より質の良い研修研鑽の場を提供して欲しいと願っています。

### 今井 文子 (公募委員)



図書館は、ただ本が沢山あって貸出される所という建物ではありません。新鮮な情報、それを管理・提供する図書館員、そして、利用者と共に、常に成長する有機体です。

有機体です。

県立図書館をはじめ、県下の各図書館は、今、利用のされ方、存在の重要性が見直され、そのまちらしさのある良い図書館を目指しているところですよ。

長崎は、日本でも世界でも重要な歴史・文化を沢山持った県です。文化とは日々の営みの積み重ねだと思います。資料の収集・保存は勿論、人々が長崎を誇りに思い、日常生活で本や文化を身近に感じる人が増えたらいいなと思います。その為にも欠かせないのが図書館の存在です。いつでも誰でも気軽に利用できる、開かれた図書館が欲しいです。

私も本好きで、また図書館で色々な人に出会えるのも楽しみに、図書館利用している1人です。23歳。夢を追いかけ奮闘中。2年間頑張ります。どうぞよろしくお願ひします。

## 市町村図書館等紹介

### 加津佐町民図書館

加津佐町民図書館は平成2年に「ふるさと創生資金」を使って、閉鎖中の温泉センターを改装してオープンしました。地元出身の平湯文夫先生のご指導により、あかちゃんからお年寄りまで親しめるようにと館内のレイアウトや書架にも工夫が凝らされました。お陰で現在でもあかちゃんや幼児の来館が多く、「ブックスタート事業」の実施とも相まって一段と絵本の貸出しが増え、「子ども連れの方に利用しやすい図書館」として定着しているようです。

館内配置の特徴として、カウンターから各コーナーへの見通しがよく、本の配置がスッキリしている点があります。今では蔵書が増え(5万1千冊)、一般コーナーは本があふれんばかりの状態にありますが、実用書などを手前に置いた配置は利用者にも職員にも使いやすいようです。

お話し会は土曜日に月3回行われ、2回はボランティアで、1回は職員で行っています。



「本のテーマ展示」



子ども達はカードを持参し、判子を押してもらい、カードが埋まったら小さな賞状とプレゼントをもらいます。学校が完全5日制になってからは学童からの参加もあり、益々の盛況となっています。他に折紙教室や小学校の先生による科学遊びも人気を集めており、実施するスペースに恵まれない点が惜しまれます。また、いつ頃からか子ども達が好き好きに描いた絵を子どもコーナーに貼るようになり、来館する度に紙をもらってお絵描きを楽しむ子どももいます。その他の行事として、大活字本の展示・貸出し、読書週間のポスター募集、かるた会などがあります。

新しい部分としては、中・高校生の体験学習の他、若者を中心とした利用者インターネットの利用、図書館のホームページ開設予定などとなっています。

### 深江町ふるさと伝承館図書室

去る6月、深江町役場隣の深江町ふるさと伝承館1階に図書室がオープンしました。

“誰もが自分なりの読書スタイル”をコンセプトに、自然光を程よく取り込んでゆったりとした開放的読書空間を演出しています。絵本・児童書を中心にした20畳のタタミコーナーは親子を中心に大人気で、中高生にも利用されています。

また気軽に利用してもらえるようにBGMを流したりして、読書の間だけでなくコミュニ

ケーションの間としても利用されています。



## 行事案内

1月 図書館実務研修会 (26・27日 本館)      2月 県立長崎図書館協議会 (未定 長崎市)

### ★休館のお知らせ

県立長崎図書館は、12月28日(日)から、1月5日(月)まで、年末年始のため休館いたします。ご利用の皆様には期間中ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

編集・発行 長崎県立長崎図書館 長崎市立山1丁目1番51号/印刷 (株)昭和堂 長崎市栄町6-23 昭和堂ビル  
ISSN 1344-5235 ホームページアドレス [www.lib.pref.nagasaki.jp](http://www.lib.pref.nagasaki.jp)



この広報紙は、環境に配慮した大豆油インキと古紙配合率100%の再生紙を使用しています。